

令和4年度、保護者アンケートに協力ありがとうございました。アンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。今後とも、稲羽西小学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

保護者アンケート 2022.12 <分析>

※ Aよくあてはまる Bどちらかというあてはまる Cどちらかというあてはまらない Dあてはまらない

※ 達成度 = $(4A+3B+2C+D) / 4$ すべての回答者が A ならば 100

[学校運営について]

①学校は、保護者が学校の教育内容や指導について理解できるよう、情報提供に努めている。

・学校だより ・学年だより ・ホームページ ・すぐメール

(A+B=87.3 B)

A	B	C	D	無	達成度
36.8	50.5	12.6	0	0	80.9

・毎月発行している「学校だより」「学年通信」やホームページが情報として一定の評価を受けている。下校時刻など、見まもり隊の方も活用している。

②学校は、「全職員で全児童を指導する。」という体制で、児童の困り感に寄り添った指導に努めている。

(A+B=86.4 B)

A	B	C	D	無	達成度
23.2	63.2	12.1	1.6	0.0	77.0

③学校は、児童一人一人が「できた」「わかった」といえる授業を行っている。

・少人数指導(算数) ・教科担任制(高学年) ・学年授業 ・電子黒板 ・ICTの活用

A	B	C	D	無	達成度
21.6	64.2	10.5	3.2	0.0	75.8

(A+B=85.8 B)

・実態に応じて、UD(ユニバーサルデザイン)の視点を取り入れた授業改善が必要である。授業展開の構造化、課題の焦点化・視覚化・共有化を進め、「できた」「わかった」と実感できる授業づくりに努める。また、振り返りの場を工夫する。

・授業の中でタブレットの活用は徐々に進んでいる。コロナ予防の手立てとしても、交流の方法としての活用もある。効果的な活用方法について更に校内でも研究を深め、共有する。

④学校は、児童の安全を確保するため、命を守る訓練など安全教育を進めたり、校舎内外の環境整備を進めたり

している。(A+B=93.7 A)

A	B	C	D	無	達成度
37.4	56.3	4.7	1.6	0.0	82.4

・見まもり隊の皆様の見守り体制が、本当に素晴らしい。それを当たり前とせず、見守っていただける方々に感謝の

思いを抱かせるとともに、自分の身は自分で守る安全指導を進める。

- ・シェイクアウト、休み時間、予告なし等の命を守る訓練等、実際の災害時に生きて働くよう工夫している。
- ・登下校についての相談に、迅速に対応している。
- ・就労支援ボランティアの方が、月1~2回環境整備を進めてくださった。(草刈り、ビオトープ、池、石山周辺の整備等)

⑤学校は、児童一人一人に自己有用感や自己肯定感を育てている。(A+B=90.5 A)

A	B	C	D	無	達成度
38.4	52.1	8.9	0.5	0.0	82.0

- ・「やって良かった」「自分も大切な存在だ」と思えるような価値付けをこれからも大切にしていける。よいこと見つけの取組やひびきあい活動の全校道徳を大切にしたい。

⑥学校は、児童一人一人にボランティア精神を育てている。(A+B=84.7 B)

- ・ボランティア活動 ・ボランティア手帳 ・話そう語ろうわが家の約束

A	B	C	D	無	達成度
25.8	58.9	14.2	1.1	0.0	77.4

- ・ボランティア手帳(よいこと見つけでも)の取り組みでは、量と質のことがよく話題になる。子どもは回数分かりやすいので量で認めていけば良いが、内容を価値付けることも大切にしていける。
- ・ボランティアをやっているが、書くことに抵抗がある児童も多い。取り組み内容を(学校経営の柱に照らして)、印刷した用紙を各クラスに配付し、貼るようにするなどアイデアを出したい。

⑦学校は、新型コロナウイルス感染予防対策や熱中症対策を適切に行っている。(A+B=96.8 A)

- ・健康チェックカード ・手指消毒 ・マスク着用 ・水分補給など

A	B	C	D	無	達成度
56.3	40.5	3.2	0.0	0.0	88.3

- ・健康チェックカードや手指消毒、マスク着用、水分補給などについて評価されている。保護者の方のご理解・ご協力がある。 (健康観察やマスク着用など)
- ・欠席連絡カードから学校HPを使った欠席連絡に変更した。

⑧保護者の問い合わせ(電話)や来校時の、教職員の対応は適切である。

(A+B=94.7 A)

A	B	C	D	無	達成度
50.5	44.7	2.6	2.6	0.0	85.5

[来年度の重点について]

⑨来年度、本校の教育に一番力を入れてほしいことは何ですか。(3つ選択)

ア	基礎的・基本的な学力	↓51.1	<本年度 >多い順にエアウ ・4年続けて同じ上位3項目。 「他人を思いやる温かな心」 「考えや意見を表現する力」 「基礎的・基本的な学力」
イ	安全教育(コロナ対策を含む)新設	↓11.6	
ウ	考えや意見を表現する力	↑47.4	
エ	他人を思いやる温かな心	↑56.3	
オ	自他の生命を尊重する心	↓17.9	
カ	挨拶、言葉遣い等の礼節	↑29.5	
キ	ルールやモラルを守る規範意識	↑31.1	
ク	自己有用感・自己肯定感	↑42.1	
ケ	ボランティア精神	↑1.6	
コ	体力づくり	↓14.7	

[お子様について]

⑩わが子は、学校へ行くのが楽しいと言っている。(A+B=84.7 B)

A	B	C	D	無	達成度
42.1	42.6	13.2	2.1	0.0	81.2

⑪わが子は、学校の授業が分かると言っている。(A+B=85.3 B)

A	B	C	D	無	達成度
31.6	53.7	11.6	3.2	0.0	78.5

・3年生の希望者を対象にしている「ららら学習室」は、地域のボランティアの皆様の手厚いご指導により、基礎基本の定着につながっている。

⑫わが子には、よいところや自慢できることがある。(A+B=96.9 A)

A	B	C	D	無	達成度
57.4	39.5	3.2	0.0	0.0	88.6

・子どもの良さを保護者と教職員で共有できるようにする。子どもたちと共に、よい事実(行動)をつくり、それを認め広める営みをさらに進める。

⑬わが子は、学校や地域・家庭であいさつをしている。(A+B=83.7 B)

A	B	C	D	無	達成度
31.1	52.6	13.2	3.2	0.0	77.9

・児童玄関前でも、あいさつを返せない子はまあある。
 ・本年度児童会や、6年生が中心となって「あいさつ」を広める取り組みを進めている。また、稲羽中学校区の学校運営協議会の重点活動として、稲中生が本校の校門であいさつ運動を展開している。

・あいさつの良さを実感させる活動を位置付け、見つけた児童の良さを認め広める取り組みを進める。

⑭わが子には、話しやすい教職員がいる。(A+B=76.9 C)

・担任 ・ほかの職員 ・養護教諭 ・カウンセラー ・図書館職員など

A	B	C	D	無	達成度
29.5	47.4	20.0	3.2	0.0	75.9

・「ここにいますべての先生方が約束します。皆さんが願いを持って、より良くなろうとするために頑張ることを、先生たちは精一杯応援します。頑張っている仲間の心や体を傷つける言動に対しては、先生たちは厳しく指導します。そして、悩み事や不安、困ったことがあれば、どんなことでも、一番話しやすい先生に相談してください。解決できるまで粘り強く関わり続けます。」といったメッセージをあらゆる場面で教師が児童・保護者に発信していく。

<記述より>地域・家庭に関連するものを抜粋

○iPadの宿題が時折課されますが、親としてはどこからどこまでが宿題なのかがわかりません。アプリなどで遊んでいるように見えても宿題だと言われると何も言えないし、長時間iPadを触ってしまうこともあります。iPadの使用は学校だけにしてほしいです。

☞インターネットの危険性について、家庭での指導はもちろんだが、学校もタブレット端末を貸し出す以上、危険性を伝え安全に活用できるように指導していく必要がある。タブレットの使い方の指導などに合わせて計画的に行いたい。ネットやゲーム依存等の危険や、SNSのいじめ、安全な使い方など、指導が必要である。学校だけでなく、家庭の協力も欠かせないことから、PTAの研修委員会と連携するなどして、学んでいきたい。

○学校の敷地や校舎内にどの時間でも誰でも立ち入ることができてしまう点が防犯上心配でなりません。

☞中央の門は確実に閉める。防犯カメラ映像を職員室でも確認し、緊急時に対応できるようにするとともに、不審者侵入時の訓練を位置付ける。

○登下校時の道いっばいに広がって登校したり下校したりするのが目にあまる。見ていて車が来たらどうするんだろうという危機感を感じます。生活道路でもあるので近隣の方々も利用する道でもあるので指導を早急をお願いしたいです。

☞放送等で啓発するとともに、不定期に校区担当で校門の巡回を行う。無理のない範囲でPTA校外生活委員の皆様にも協力を仰ぐ。

○ランドセル中身をもう少し軽くできるよう検討していただきたいです。宿題に必要なもの以外は学校に置いておけるようにしてもいいのではないかと思います。

○学年が上がるにつれ教科書等の荷物が多くなり、登下校時にランドセルがとても重く、子どもの身体に負担だと思えます。

☞指導部で学校においてよい学用品を見直す。長期休み以外は無理に持ち帰らず学校においておく用品を検討する。

○今後のPTAや子供会の在り方を考えていく必要があると思います。コロナ禍により様々な活動が制限されているが、この経験を生かし、時代に合った活動内容にしていくべきだと思う。

☞誰もが無理なく、参加できるPTA活動とするために、PTA本部役員会で検討を進め、スリム化を図っていく。